

登別市地区の活動

日本赤十字社は、登別市地区の事務局を市保健福祉部社会福祉グループに置き、『国内災害救護』と『救急法等の講習』、『赤十字ボランティア』の3つの事業に力を入れています。活動資金は、北海道支部からの交付金を原資として事業を実施しています。

●国内災害救護事業

登別市地区では、6月30日まで『平成28年熊本地震災害義援金』の募集を行い、市民の方から多くの義援金を受け取りました。この義援金を、日本赤十字

社から各被災県に設置された義援金配分委員会を通じて全額現地に届けます。

●救急法等の講習事業

年に一度、赤十字救急法と赤十字雪上安全法の各講習会を実施しています。赤十字救急法は、傷病者を正しく救護し、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命・応急手当てを行うものです。赤十字雪上安全法は、雪を活用して健康の増進を図り、雪上の事故から命を守るための知識と技術を習得するものです。

●赤十字ボランティア事業

登別市地区には、『登別市赤十字奉仕団』、『登別市点訳赤

十字奉仕団』、『登別市スキーパトロール赤十字奉仕団』の3つの奉仕団があります。

市の奉仕団の活動内容は？

●登別市赤十字奉仕団

登別市赤十字奉仕団は、昭和46年2月に登別分団が、昭和59年9月に片倉分団と富浦分団が発足しました。

総合防災訓練における炊き出し訓練や災害の際の炊き出しなど、災害時を中心に大きな役割を担っているほか、平常時にはボランティア活動に従事しています。

現在、富浦分団は解散、片倉分団は休団している状況です。

●登別市点訳赤十字奉仕団

登別市点訳赤十字奉仕団は、昭和61年に発足し、市や登別市社会福祉協議会の広報、バスやJRの時刻表などの点訳を行っています。

また、視覚障がい者からの個別の要請にも応えるなど、地域に密着した活動を行っています。

平成28年度は第2土曜日と第4土曜日の月2回、登別中央ショッピングセンター・アーニ

ス（中央町4丁目11）で初心者点訳講習を開催し、点訳活動の周知と団員の増員に取り組んでいます。



▲平成27年度に創立30周年を迎えた点訳赤十字奉仕団

●登別市スキーパトロール赤十字奉仕団

登別市スキーパトロール赤十字奉仕団は、昭和59年に発足し、サンライバスキー場を活動拠点として、スキー場での事故防止啓発や、応急手当てなどを行っています。

団員は、赤十字雪上安全法の講師を務めるほか、団員自身も定期的に講習を受講しています。これにより技術や知識の研鑽に励み、人材の育成にも力を注いでいます。

今年度は、サンライバススキー場で、第45回北海道スキーパトロール競技大会が開催される予

定となっております、準備を進めています。



▲長年にわたる活動について表彰を受けるスキーパトロール赤十字奉仕団

あなたの力を必要としている人がいます

命をつなぐ活動をしている登別市地区の各種赤十字奉仕団。発足から現在まで熱心に活動を行ってきましたが、団員の減少により活動の縮小を迫られています。

各種赤十字奉仕団では、災害の炊き出しや点訳活動、スキー場での事故防止活動などを行う団員を募集しています。

詳しくは社会福祉グループに問い合わせください。

問い合わせ 社会福祉G

(☎) 1911



まつ だいら あり こと 松平昭子さん

登別市赤十字奉仕団 片倉分団の団員として10年間活躍。

片倉分団では、炊き出しや救援活動をはじめ、各種ボランティア活動を行ってきました。

特に印象に残っているのは、平成24年11月の猛吹雪による大停電の時のボランティア活動です。停電が続く中で温かい食事を避難者に届けたいという思いから、登別市社会福祉協議会やのぼりべつ元鬼協議会の協力を得て、炊き出しの支援活動を行いました。

そのときの皆さんの笑顔やありがたいという言葉に、心からやりがいを感じたことを覚えています。

今後も、同じ志を持った仲間とともにボランティア活動をしていきたいと思っています。